

学校コード F127210111989

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 大学院の設置

注1

認可

大阪公立大学大学院 情報学研究科 基幹情報学専攻（博士前期課程）

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人大阪
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名

ソウムタントウチョウ イシダ コウゾウ
総務担当課長・石田 耕造

電話番号

072-254-9104

（夜間）

090-8404-0679

e-mail

ishida.kozo@omu.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

情報学研究科

＜基幹情報学専攻（博士前期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	25
6. 附帯事項等に対する履行状況等	36
7. その他全般的事項	38

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

公立大学法人大阪

(2) 大 学 名

大阪公立大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒599-8531

大阪府堺市中区学園町1番1号

〒558-8585

大阪府大阪市住吉区杉本3丁目3番138号

(大阪府大阪市阿倍野区旭町1-2-7)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ニシザワ ヨシキ) 西澤 良記 (平成31年4月)		
学 長	(タツミサゴ マサヒロ) 辰巳砂 昌弘 (令和4年4月)		
研究科長	(ミヤモト タカオ) 宮本 貴朗 (令和4年4月)		
専 攻 長	(トデ ヒデキ) 戸出 英樹 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
情報学研究科 基幹情報学専攻 (博士前期課程) 修士(情報学)	工学関係	2年	65人	年次 -人	130人	新規入学者を募集中	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度		令和 8 年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 65 (ー) [若干名]	人 ー (ー) [ー]	人 ー (ー) [ー]	人 ー (ー) [ー]	人 ー (ー) [ー]	人 ー (ー) [ー]	人 ー (ー) [ー]	人 ー (ー) [ー]	人 ー (ー) [ー]	人 ー (ー) [ー]	倍	ー	
志願者数	90 (ー) [5]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]			
受験者数	84 (ー) [4]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]			
合格者数	73 (ー) [1]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]			
B 入学者数	67 (ー) [0]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]			
入学定員超過率 B/A	1.03		ー		ー		ー		ー				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	67 [0] (0)		－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
2 年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
3 年次											
4 年次											
計	67 [0] (0)		－ [－] (－)		－ [－] (－)		－ [－] (－)		－ [－] (－)		

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和4年度	67 人	0 人	令和4年度	0 人	0 人	
令和5年度	－ 人	－ 人	令和4年度	－ 人	－ 人	
			令和5年度	－ 人	－ 人	
令和6年度	－ 人	－ 人	令和4年度	－ 人	－ 人	
			令和5年度	－ 人	－ 人	
			令和6年度	－ 人	－ 人	
合 計		0 人		人	人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{67} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<情報学研究科 基幹情報学専攻（博士前期課程）>

（1）－① 授業科目表

【認可時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学 院 共 通 教 育 科 目		研究公正A	1前・後	1								24	
		科学英語	1前・後			2						1	
		Academic Writing	1前・後			2						2	
		Academic Presentation	1前・後			2						2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通			2						2	
		大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1						6	
		戦略的システム思考力演習1	1前			2						4	
		戦略的システム思考力演習2	1後			2						4	
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2						1	
		医療の品質管理A	1前・後			2						1	
		グローバル経営特論	1前・後			2						2	
		化学産業論	1前・後			1						3	
		バイオデザイン	1前・後			2						2	
		人権問題論	1前・後			2						2	
		大学教育基礎演習	1通			1						4	
		小計（15科目）	—	1	0	25	0	0	0	0	0	48	
専門 科目	科目 専攻 演習	プログラミング演習（機械学習演習）	1前	2				2	1				
		先端ソフトウェア環境構築実践	1後	2				1	2				
		小計（2科目）	—	4	0	0	0	3	3	0	0	0	
	指導 専攻 科目 究	基幹情報学特別研究 1	2前	2			11	9	3				
		基幹情報学特別研究 2	2後	2			11	9	3				
		小計（2科目）	—	4	0	0	11	9	3	0	0	0	
	専攻 基礎 科目	基幹情報学セミナー	1後		2		11	3	1				
		アルゴリズム設計論	1前		2		1	1					
		確率統計学	1前		2		1	1					
		テクニカルライティング・プレゼンテーション	1前		2							1	
	小計（4科目）		—	0	8	0	11	4	1	0	0	1	
	専攻 専門 科目	知能 情報 学系 科目	社会情報学	1後		2		1	1				
			深層学習	1後		2		1	1				
			ビッグデータ解析	1前		2		1	1				
			ヒューマンコンピュータインタラクション	1後		2		1	1				
			先端的計算知能	1後		2		2					
			機械学習構成論	1前		2		1	1				
			データマイニング	1前		2		2					
			言語情報学	1前		2		2					
			画像情報学	1後		2			2				
システム 情報 学系 科目		情報プラットフォーム構成論	1前		2		1						
		情報センシングシステム	1後		2			1	1				
		マルチエージェントシステム	1後		2		1	1					
		サイバーセキュリティ	1前		2		2						
	ネットワークシステム設計論	1前		2		1							
	高性能計算論	1前		2		1							
	通信基盤	1後		2		1							
	無線ネットワークシステム	1後		2			1	1					
時系列信号処理		1前		2		1	1						
小計（18科目）		—	0	36	0	11	9	1	0	0	0		
合計（41科目）			—	9	44	25	11	9	3	0	0	49	

【令和4年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学 院 共 通 教 育 科 目	研究公正A	1前・後	1									4	
	科学英語	1前・後			2							1	
	Academic Writing	1前・後			2							2	
	Academic Presentation	1前・後			2							2	
	大学院キャリアデザイン演習	1通			2							2	
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会	1通			1							4	
	戦略的システム思考力演習1	1前			2							4	
	戦略的システム思考力演習2	1後			2							4	
	イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2							1	
	医療の品質管理A	1前・後			2							1	
	グローバル経営特論	1前・後			2							1	
	化学産業論	1前・後			1							1	
	バイオデザイン	1前・後			2							1	
	人権問題論	1前・後			2							2	
	大学教育基礎演習	1通			1							4	
	小計（15科目）		—	1	0	25	0	0	0	0	0	24	
専門 科目	専攻 演習 科目	プログラミング演習（機械学習演習）	1前	2			1	2	2				
		先端ソフトウェア環境構築実践	1後	2			2	3	1				
		小計（2科目）	—	4	0	0	2	3	2	0	0	0	
	指導 専攻 研究 科目	基幹情報学特別研究 1	2前	2			12	9	4				
		基幹情報学特別研究 2	2後	2			12	9	4				
		小計（2科目）	—	4	0	0	12	9	4	0	0	0	
	専攻 基礎 科目	基幹情報学セミナー	1後		2		12	2	1				
		アルゴリズム設計論	1前		2		1	1					
		確率統計学	1前		2		1	1					
		テクニカルライティング・プレゼンテーション	1前		2							1	
	小計（4科目）		—	0	8	0	12	4	1	0	0	1	
	専攻 専門 科目	知能 情報 学系 科目	社会情報学	1後		2		1	1				
			深層学習	1後		2		1	1				
			ビッグデータ解析	1前		2		1	1				
			ヒューマンコンピュータインタラクション	1後		2		1	1				
			先端的計算知能	1後		2		2					
			機械学習構成論	1前		2		1	1				
			データマイニング	1前		2		2					
			言語情報学	1前		2		2					
			画像情報学	1後		2		2					
シス テム 情報 学系 科目		情報プラットフォーム構成論	1前		2		1						
		情報センシングシステム	1後		2			2	1				
		マルチエージェントシステム	1後		2		1						
		サイバーセキュリティ	1前		2		2		1				
		ネットワークシステム設計論	1前		2		1						
		高性能計算論	1前		2		1						
		通信基盤	1後		2		1						
		無線ネットワークシステム	1後		2		1	2	1				
		時系列信号処理	1前		2		1	1					
小計（18科目）		—	0	36	0	12	7	2	0	0	0		
合計（41科目）			—	9	44	25	12	9	4	0	0	25	

卒業要件及び履修方法
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、31単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格すること
【履修方法】 ＜知能情報学分野＞ 1. 大学院共通教育科目 1単位（必修） 2. 専門科目 30単位以上（必修8単位 選択22単位以上） (1)専攻演習科目 4単位（必修） (2)専攻研究指導科目 4単位（必修） (3)専攻基礎科目 4単位以上（選択） (4)専攻専門科目 16単位以上(選択) ①知能情報学系科目 8単位以上 ②システム情報学科目 4単位以上 上記2のほか、(3)(4)の科目区分より、指定した単位を含む22単位以上を修得すること ＜システム情報学分野＞ 1. 大学院共通教育科目 1単位（必修） 2. 専門科目 30単位以上（必修8単位 選択22単位以上） (1)専攻演習科目 4単位（必修） (2)専攻研究指導科目 4単位（必修） (3)専攻基礎科目 4単位以上（選択） (4)専攻専門科目 16単位以上(選択) ①システム情報学科目 8単位以上 ②知能情報学系科目 4単位以上 上記2のほか、(3)(4)の科目区分より、指定した単位を含む22単位以上を修得すること

卒業要件及び履修方法
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、31単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格すること
【履修方法】 ＜知能情報学分野＞ 1. 大学院共通教育科目 1単位（必修） 2. 専門科目 30単位以上（必修8単位 選択22単位以上） (1)専攻演習科目 4単位（必修） (2)専攻研究指導科目 4単位（必修） (3)専攻基礎科目 4単位以上（選択） (4)専攻専門科目 16単位以上(選択) ①知能情報学系科目 8単位以上 ②システム情報学科目 4単位以上 上記2のほか、(3)(4)の科目区分より、指定した単位を含む22単位以上を修得すること ＜システム情報学分野＞ 1. 大学院共通教育科目 1単位（必修） 2. 専門科目 30単位以上（必修8単位 選択22単位以上） (1)専攻演習科目 4単位（必修） (2)専攻研究指導科目 4単位（必修） (3)専攻基礎科目 4単位以上（選択） (4)専攻専門科目 16単位以上(選択) ①システム情報学科目 8単位以上 ②知能情報学系科目 4単位以上 上記2のほか、(3)(4)の科目区分より、指定した単位を含む22単位以上を修得すること

- （注） ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。
（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

<大学院共通教育科目>

・情報学研究科に担当されているのが4クラスであることに鑑み、「研究公正A」（必修科目）の兼任・兼任教員数を24から4に変更。

・情報学研究科に担当されているのが1クラスであることに鑑み、「グローバル経営特論」、「化学産業論」、「バイオデザイン」（いずれも自由科目）の兼任・兼任教員数を変更。

<専門科目>

・認可時付帯事項9を踏まえた授業内容及び担当者の見直しの理由により、「プログラミング演習（機械学習演習）」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「講師1」から「講師2」に変更。

・認可時付帯事項9を踏まえた授業内容及び担当者の見直しの理由により、「先端ソフトウェア環境構築実践」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授2」、「准教授1」から「准教授3」、「講師2」から「講師1」に変更。

・専任教員の昇任及び就任の理由により、「基幹情報学特別研究1」の専任教員等の配置を「教授11」から「教授12」、「講師3」から「講師4」に変更。

・専任教員の昇任及び就任の理由により、「基幹情報学特別研究2」の専任教員等の配置を「教授11」から「教授12」、「講師3」から「講師4」に変更。

・専任教員の昇任の理由により、「基幹情報学セミナー」の専任教員等の配置を「教授11」から「教授12」、「准教授3」から「准教授2」に変更。

・専任教員の就任の理由により、「情報センシングシステム」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。

・専任教員の昇任及びそれに伴う担当者の見直しの理由により、「マルチエージェントシステム」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。

・専任教員の就任の理由により、「サイバーセキュリティ」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。

・専任教員の就任及びそれに伴う担当者の見直しの理由により、「無線ネットワークシステム」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授2」に変更。

- (注) ・ 2（1）―① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
5 科目	22 科目	14 科目	41 科目	5 科目 [0]	22 科目 [0]	14 科目 [0]	41 科目 [0]	特になし。

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{41} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備考		
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		大学院博士後期課程における完成年度(2024年度)で表示。		
	校 舎 敷 地	557,261㎡	0㎡	0㎡	557,261㎡				
	運動場用地	120,814㎡	0㎡	0㎡	120,814㎡				
	小 計	678,075㎡	0㎡	0㎡	678,075㎡				
	そ の 他	152,273㎡	0㎡	0㎡	152,273㎡				
	合 計	830,348㎡	0㎡	0㎡	830,348㎡				
(2)校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		大学院博士後期課程における完成年度(2024年度)で表示。			
	480,925㎡ (446,774㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	480,925㎡ (446,774㎡)					
(3)教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		大学全体		
	411 室	223 室	1,570 室	30 室 (補助職員 5 人)	12 室 (補助職員 5 人)				
(4)専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	情報学研究科 基幹情報学専攻(博士前期課程)			28 室					
(5)図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
		情報学研究科	2,410,000 [783,000] (23,800,000 [780,000])	31,400 [12,740] (31,400 [12,740])	8,700 [8,700] (8,700 [8,700])	39,200 (39,200)	2,279 (2,279)		409,000 (409,000)
	計	2,410,000 [783,000] (23,800,000 [780,000])	31,400 [12,740] (31,400 [12,740])	8,700 [8,700] (8,700 [8,700])	2,400 (2,400)	2,279 (2,279)	409,000 (409,000)		
(6)図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	32,820㎡		1,965		3,422,000				
(7)体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	8,823㎡		テニスコート(15面)		プール(2施設)				
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト等)を含む
		教員1人当たり研究費等	1,028千円	1,028千円	図書購入費	3,905千円	3,905千円	3,905千円	
		共同研究費等	2,176,768千円	2,176,768千円	設備購入費	170,781千円	170,781千円	170,781千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	学生1人当たり納付金の第1年次の上段は大阪府内、下段は大阪府外の金額	
		817.8千円 917.8千円	535.8千円	535.8千円	-	-	-		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	大阪公立大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数		備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
現代システム科学域		260	0	1,040				-			
知識情報システム学類	4	60	0	240	学士 (情報学) 学士 (学術)			-	令和4年	大阪府堺市中央区学園町1番1号	所在地は完成年度の所在地を記載 (以下、同様)
環境社会システム学類	4	100	0	400	学士 (環境社会システム学) 学士 (学術)			-	令和4年	同上	
教育福祉学類	4	55	0	220	学士 (教育福祉学) 学士 (学術)			-	令和4年	同上	
心理学類	4	45	0	180	学士 (心理学) 学士 (学術)			-	令和4年	同上	
文学部		160	3年次16	672				-			
哲学歴史学科	4	32	3年次4	136	学士 (文学)			-	令和4年	大阪府大阪市城東区森之宮2丁目2-3, 2-23, 2-24	
人間行動学科	4	56	3年次4	232	学士 (文学)			-	令和4年	同上	
言語文化学科	4	43	3年次4	180	学士 (文学)			-	令和4年	同上	
文化構想学科	4	29	3年次4	124	学士 (文学)			-	令和4年	同上	
法学部		180	3年次5	730				-			
法学科	4	180	3年次5	730	学士 (法学)			-	令和4年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	
経済学部		295	0	1,180				-			
経済学科	4	295	0	1,180	学士 (経済学)			-	令和4年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	
商学部		270	0	1,080				-			
商学科	4	195	0	780	学士 (商学)			-	令和4年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	
公共経営学科	4	75	0	300	学士 (商学)			-	令和4年	同上	
理学部		299	0	1,196				-			
数学科	4	40	0	160	学士 (理学)			-	令和4年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	
物理学科	4	76	0	304	学士 (理学)			-	令和4年	同上	
化学科	4	85	0	340	学士 (理学)			-	令和4年	同上	
生物学科	4	40	0	160	学士 (理学)			-	令和4年	同上	
地球学科	4	24	0	96	学士 (理学)			-	令和4年	同上	
生物化学科	4	34	0	136	学士 (理学)			-	令和4年	大阪府堺市中央区学園町1番1号	

工学部		741	2年次 ¹ 3年次 ³⁹	3, 045				-			
航空宇宙工学科	4	38	3年次 ¹	154	学士 (工学)			-	令和4年	大阪府堺市中区学園町1番1号	
海洋システム工学科	4	33	3年次 ³	138	学士 (工学)			-	令和4年	同上	
機械工学科	4	128	3年次 ⁴	520	学士 (工学)			-	令和4年	同上	
建築学科	4	34	2年次 ¹	139	学士 (工学)			-	令和4年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	
都市学科	4	50	3年次 ¹	202	学士 (工学)			-	令和4年	同上	
電子物理工学科	4	108	3年次 ³	438	学士 (工学)			-	令和4年	大阪府堺市中区学園町1番1号	
情報工学科	4	77	3年次 ²	312	学士 (工学)			-	令和4年	同上	
電気電子システム工学科	4	65	3年次 ⁴	268	学士 (工学)			-	令和4年	同上	
応用化学科	4	70	3年次 ⁷	294	学士 (工学)			-	令和4年	同上	
化学工学科	4	38	3年次 ⁸	168	学士 (工学)			-	令和4年	同上	
マテリアル工学科	4	43	3年次 ⁴	180	学士 (工学)			-	令和4年	同上	
化学バイオ工学科	4	57	3年次 ²	232	学士 (工学)			-	令和4年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	
農学部		150	0	600				-			
応用生物科学科	4	50	0	200	学士 (農学)			-	令和4年	大阪府堺市中区学園町1番1号	
生命機能化学科	4	50	0	200	学士 (農学)			-	令和4年	同上	
緑地環境科学科	4	50	0	200	学士 (農学)			-	令和4年	同上	
獣医学部		40	0	240				-			
獣医学科	6	40	0	240	学士 (獣医学)			-	令和4年	大阪府泉佐野市りんくう往来北1番地58号	
医学部		145	0	770				-			
医学科	6	95	0	570	学士 (医学)			-	令和4年	大阪市阿倍野区旭町1丁目4番3号	医学部医学科の入 学定員95人は、地 域医療枠5名を含む
リハビリテーション学科		50	0	200				-			
(理学療法学専攻)	4	25	0	100	学士 (保健学)			-	令和4年	大阪府大阪市城東区森之宮2丁目2-3, 2-23, 2-24	
(作業療法学専攻)	4	25	0	100	学士 (保健学)			-	令和4年	同上	
看護学部		160	0	640				-			
看護学科	4	160	0	640	学士 (看護学)			-	令和4年	大阪市阿倍野区旭町1丁目5番17号	
生活科学部		153	0	612				-			
食栄養学科	4	65	0	260	学士 (生活科学)			-	令和4年	大阪府大阪市城東区森之宮2丁目2-3, 2-23, 2-24	
居住環境学科	4	43	0	172	学士 (生活科学)			-	令和4年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	
人間福祉学科	4	45	0	180	学士 (生活科学)			-	令和4年	同上	
大学全体	-	2853	2年次 ¹ 3年次 ⁶⁰	11, 805	-			-	-	-	

大 学 の 名 称	大阪公立大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数		備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所 在 地	
現代システム科学研究科	年	人	年次	人		倍	倍	-			
現代システム科学専攻		50	-	110				-			
		50	-	110				-			
博士前期課程	2	40	-	80	修士 (環境学) 修士 (言語文化学) 修士 (人間科学) 修士 (社会福祉学) 修士 (学術)			-	令和4年	大阪府堺市中央区学園町1番1号	所在地は完成年度の所在地を記載 (以下、同様)
博士後期課程	3	10	-	30	博士 (環境学) 博士 (言語文化学) 博士 (人間科学) 博士 (社会福祉学) 博士 (学術)			-	令和4年	同上	
文学研究科		81	-	183				-			
哲学歴史学専攻		19	-	43				-			
博士前期課程	2	14	-	28	修士 (文学)			-	令和4年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (文学)			-	令和4年	同上	
人間行動学専攻		22	-	50				-			
博士前期課程	2	16	-	32	修士 (文学)			-	令和4年	同上	
博士後期課程	3	6	-	18	博士 (文学)			-	令和4年	同上	
言語文化学専攻		24	-	54				-			
博士前期課程	2	18	-	36	修士 (文学)			-	令和4年	同上	
博士後期課程	3	6	-	18	博士 (文学)			-	令和4年	同上	
文化構想学専攻		16	-	36				-			
博士前期課程	2	12	-	24	修士 (文学)			-	令和4年	同上	
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (文学)			-	令和4年	同上	
法学研究科		42	-	118				-			
法学政治学専攻		12	-	28				-			
博士前期課程	2	8	-	16	修士 (法学)			-	令和4年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (法学)			-	令和4年	同上	
法曹養成専攻		30	-	90				-			
専門職学位課程	3	30	-	90	法務博士 (専門職)			-	令和4年	同上	
経済学研究科		32	-	68				-			
経済学専攻		32	-	68				-			
博士前期課程	2	28	-	56	修士 (経済学)			-	令和4年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (経済学)			-	令和4年	同上	

経営学研究科		26	-	58				-		
グローバルビジネス専攻		26	-	58				-		
博士前期課程	2	20	-	40	修士 (経営学) 修士 (商学) 修士 (グローバルビジネス)			-	令和4年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号
博士後期課程	3	6	-	18	博士 (経営学) 博士 (商学)			-	令和4年	同上
都市経営研究科		61	-	127				-		
都市経営専攻		61	-	127				-		
博士前期課程	2	56	-	112	修士 (都市経営)			-	令和4年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪市北区梅田1-2-2-600 (大阪駅前第2ビル6階)
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (都市経営)			-	令和4年	同上
情報学研究科		105	-	225				-		
基幹情報学専攻		75	-	160				-		
博士前期課程	2	65	-	130	修士 (情報学)			-	令和4年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪府堺市中央区学園町1番1号
博士後期課程	3	10	-	30	博士 (情報学)			-	令和4年	同上
学際情報学専攻		30	-	65				-		
博士前期課程	2	25	-	50	修士 (情報学)			-	令和4年	同上
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (情報学)			-	令和4年	同上
理学研究科		235	-	505				-		
数学専攻		25	-	54				-		
博士前期課程	2	21	-	42	修士 (理学)			-	令和4年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪府堺市中央区学園町1番1号
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (理学)			-	令和4年	同上
物理学専攻		65	-	140				-		
博士前期課程	2	55	-	110	修士 (理学)			-	令和4年	同上
博士後期課程	3	10	-	30	博士 (理学)			-	令和4年	同上
化学専攻		70	-	150				-		
博士前期課程	2	60	-	120	修士 (理学)			-	令和4年	同上
博士後期課程	3	10	-	30	博士 (理学)			-	令和4年	同上
生物学専攻		31	-	67				-		
博士前期課程	2	26	-	52	修士 (理学)			-	令和4年	同上
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (理学)			-	令和4年	同上
地球学専攻		18	-	39				-		
博士前期課程	2	15	-	30	修士 (理学)			-	令和4年	同上
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (理学)			-	令和4年	同上
生物化学専攻		26	-	55				-		
博士前期課程	2	23	-	46	修士 (理学)			-	令和4年	大阪府堺市中央区学園町1番1号
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (理学)			-	令和4年	同上

工学研究科		505	-	1,063			-		
航空宇宙海洋系専攻		39	-	82			-		
博士前期課程	2	35	-	70	修士 (工学)		-	令和4年	大阪府堺市中区学園町1番1号
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (工学)		-	令和4年	同上
機械系専攻		94	-	196			-		
博士前期課程	2	86	-	172	修士 (工学)		-	令和4年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪府堺市中区学園町1番1号
博士後期課程	3	8	-	24	博士 (工学)		-	令和4年	大阪府堺市中区学園町1番1号
都市系専攻		60	-	126			-		
博士前期課程	2	54	-	108	修士 (工学)		-	令和4年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号
博士後期課程	3	6	-	18	博士 (工学)		-	令和4年	同上
電子物理系専攻		88	-	184			-		
博士前期課程	2	80	-	160	修士 (工学)		-	令和4年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪府堺市中区学園町1番1号
博士後期課程	3	8	-	24	博士 (工学)		-	令和4年	大阪府堺市中区学園町1番1号
電気電子系専攻		50	-	105			-		
博士前期課程	2	45	-	90	修士 (工学)		-	令和4年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪府堺市中区学園町1番1号
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (工学)		-	令和4年	大阪府堺市中区学園町1番1号
物質化学生命系専攻		164	-	347			-		
博士前期課程	2	145	-	290	修士 (工学)		-	令和4年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪府堺市中区学園町1番1号
博士後期課程	3	19	-	57	博士 (工学)		-	令和4年	同上
量子放射線系専攻		10	-	23			-		
博士前期課程	2	7	-	14	修士 (工学)		-	令和4年	大阪府堺市中区学園町1番1号
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (工学)		-	令和4年	同上
農学研究科		85	-	180			-		
応用生物科学専攻		28	-	59			-		
博士前期課程	2	25	-	50	修士 (農学)		-	令和4年	大阪府堺市中区学園町1番1号
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (農学)		-	令和4年	同上
生命機能化学専攻		34	-	72			-		
博士前期課程	2	30	-	60	修士 (農学)		-	令和4年	同上
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (農学)		-	令和4年	同上
緑地環境科学専攻		23	-	49			-		
博士前期課程	2	20	-	40	修士 (農学)		-	令和4年	同上
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (農学)		-	令和4年	同上
獣医学研究科		13	-	52			-		
獣医学専攻		13	-	52			-		
博士課程	4	13	-	52	博士 (獣医学)		-	令和4年	大阪府泉佐野市りんくう往来北1番地58号

医学研究科		82	-	304				-		
医科学専攻		82	-	304				-		
修士課程	2	12	-	24	修士 (医科学)			-	令和4年	大阪市阿倍野区旭町1丁目4番3号
基礎医科学専攻								-		
博士課程	4	20	-	80	博士 (医学)			-	令和4年	同上
臨床医科学専攻								-		
博士課程	4	50	-	200	博士 (医学)			-	令和4年	同上
リハビリテーション学研究科		20	-	45				-		
リハビリテーション学専攻		20	-	45				-		
博士前期課程	2	15	-	30	修士 (保健学)			-	令和4年	大阪府羽曳野市はびきの3丁目7番30号
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (保健学)			-	令和4年	同上
看護学研究科		60	-	130				-		
看護学専攻		60	-	130				-		
博士前期課程	2	50	-	100	修士 (看護学)			-	令和4年	大阪市阿倍野区旭町1丁目4番3号 大阪府羽曳野市はびきの3丁目7番30号
博士後期課程	3	10	-	30	博士 (看護学)			-	令和4年	同上
生活科学研究科		68	-	146				-		
生活科学専攻		68	-	146				-		
博士前期課程	2	58	-	116	修士 (学術)			-	令和4年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪府羽曳野市はびきの3丁目7番30号
博士後期課程	3	10	-	30	博士 (学術)			-	令和4年	同上
大学全体	-	1465	-	3,314	-			-	-	-

大 学 の 名 称	大阪市立大学						学生募集停止学科数	24	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	-	備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
商学部	年	人	年次	人		倍	倍	-			
商学科	4	-	-	-	学士 (商学)	-	-	-	昭和24年	大阪市住吉区杉本 3丁目3番138号	令和4年学生募集 停止
公共経営学科	4	-	-	-	学士 (商学)	-	-	-	平成30年	同上	令和4年学生募集 停止
経済学部		-	-	-		-	-	-			
経済学科	4	-	-	-	学士 (経済学)	-	-	-	昭和24年	大阪市住吉区杉本 3丁目3番138号	令和4年学生募集 停止
法学部		-	-	-		-	-	-			
法学科	4	-	-	-	学士 (法学)	-	-	-	昭和28年	大阪市住吉区杉本 3丁目3番138号	令和4年学生募集 停止
文学部		-	-	-		-	-	-			
哲学歴史学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	-	-	平成10年	大阪市住吉区杉本 3丁目3番138号	令和4年学生募集 停止
人間行動学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	-	-	平成10年	同上	令和4年学生募集 停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	-	-	平成10年	同上	令和4年学生募集 停止
文化構想学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	-	-	平成31年	同上	令和4年学生募集 停止
理学部		-	-	-		-	-	-			
数学科	4	-	-	-	学士 (理学)	-	-	-	昭和34年	大阪市住吉区杉本 3丁目3番138号	令和4年学生募集 停止
物理学科	4	-	-	-	学士 (理学)	-	-	-	昭和34年	同上	令和4年学生募集 停止
化学科	4	-	-	-	学士 (理学)	-	-	-	昭和34年	同上	令和4年学生募集 停止
生物学科	4	-	-	-	学士 (理学)	-	-	-	昭和34年	同上	令和4年学生募集 停止
地球学科	4	-	-	-	学士 (理学)	-	-	-	平成5年	同上	令和4年学生募集 停止
工学部		-	-	-		-	-	-			
機械工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成16年	大阪市住吉区杉本 3丁目3番138号	令和4年学生募集 停止
電子・物理工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成16年	同上	令和4年学生募集 停止
電気情報工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成16年	同上	令和4年学生募集 停止
化学バイオ工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成16年	同上	令和4年学生募集 停止
建築学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成16年	同上	令和4年学生募集 停止
都市学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成16年	同上	令和4年学生募集 停止
医学部		-	-	-		-	-	-			
医学科	6	-	-	-	学士 (医学)	-	-	-	平成18年	大阪市阿倍野区旭 町1丁目4番3号	令和4年学生募集 停止
看護学科	4	-	-	-	学士 (看護学)	-	-	-	平成16年	同上	令和4年学生募集 停止
生活科学部		-	-	-		-	-	-			
食品栄養科学科	4	-	-	-	学士 (生活科学)	-	-	-	平成2年	大阪市住吉区杉本 3丁目3番138号	令和4年学生募集 停止
居住環境学科	4	-	-	-	学士 (生活科学)	-	-	-	平成12年	同上	令和4年学生募集 停止
人間福祉学科	4	-	-	-	学士 (生活科学)	-	-	-	平成2年	同上	令和4年学生募集 停止
大学全体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	令和4年学生募集 停止

大 学 の 名 称	大阪市立大学大学院						学生募集停止学科数	38	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	-	備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
経営学研究科	年	人	年次	人		倍	倍				
グローバルビジネス専攻		-	-	-		-	-	-			
前期博士課程	2	-	-	-	修士 (経営学)	-	-	-	平成14年	大阪市住吉区杉本 3丁目3番138号	令和4年学生募集 停止
後期博士課程	3	-	-	-	修士 (商学) 修士 (グローバルビジネス) 博士 (経営学) 博士 (商学) 博士 (グローバルビジネス)	-	-	-	平成14年	同上	令和4年学生募集 停止
経済学研究科		-	-	-		-	-	-			
現代経済専攻		-	-	-		-	-	-			
前期博士課程	2	-	-	-	修士 (経済学)	-	-	-	昭和28年	大阪市住吉区杉本 3丁目3番138号	令和4年学生募集 停止
後期博士課程	3	-	-	-	博士 (経済学)	-	-	-	昭和28年	同上	令和4年学生募集 停止
文学研究科		-	-	-		-	-	-			
哲学歴史学専攻		-	-	-		-	-	-			
前期博士課程	2	-	-	-	修士 (文学)	-	-	-	平成13年	大阪市住吉区杉本 3丁目3番138号	令和4年学生募集 停止
後期博士課程	3	-	-	-	博士 (文学)	-	-	-	平成13年	同上	令和4年学生募集 停止
人間行動学専攻		-	-	-		-	-	-			
前期博士課程	2	-	-	-	修士 (文学)	-	-	-	平成13年	同上	令和4年学生募集 停止
後期博士課程	3	-	-	-	博士 (文学)	-	-	-	平成13年	同上	令和4年学生募集 停止
言語文化学専攻		-	-	-		-	-	-			
前期博士課程	2	-	-	-	修士 (文学)	-	-	-	平成13年	同上	令和4年学生募集 停止
後期博士課程	3	-	-	-	博士 (文学)	-	-	-	平成13年	同上	令和4年学生募集 停止
文化構想学専攻		-	-	-		-	-	-			
前期博士課程	2	-	-	-	修士 (文学)	-	-	-	令和2年	同上	令和4年学生募集 停止
後期博士課程	3	-	-	-	博士 (文学)	-	-	-	令和2年	同上	令和4年学生募集 停止
理学研究科		-	-	-		-	-	-			
数物系専攻		-	-	-		-	-	-			
前期博士課程	2	-	-	-	修士 (理学)	-	-	-	平成10年	大阪市住吉区杉本 3丁目3番138号	令和4年学生募集 停止
後期博士課程	3	-	-	-	博士 (理学)	-	-	-	平成10年	同上	令和4年学生募集 停止
物質分子系専攻		-	-	-		-	-	-			
前期博士課程	2	-	-	-	修士 (理学)	-	-	-	平成10年	同上	令和4年学生募集 停止
後期博士課程	3	-	-	-	博士 (理学)	-	-	-	平成10年	同上	令和4年学生募集 停止
生物地球系専攻		-	-	-		-	-	-			
前期博士課程	2	-	-	-	修士 (理学)	-	-	-	平成10年	同上	令和4年学生募集 停止
後期博士課程	3	-	-	-	博士 (理学)	-	-	-	平成10年	同上	令和4年学生募集 停止
工学研究科		-	-	-		-	-	-			
機械物理系専攻		-	-	-		-	-	-			
前期博士課程	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成14年	大阪市住吉区杉本 3丁目3番138号	令和4年学生募集 停止

後期博士課程	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成14年	同上	令和4年学生募集 停止
電子情報系専攻		-	-	-		-	-	-			
前期博士課程	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成14年	同上	令和4年学生募集 停止
後期博士課程	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成14年	同上	令和4年学生募集 停止
化学生物系専攻		-	-	-		-	-	-			
前期博士課程	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成14年	同上	令和4年学生募集 停止
後期博士課程	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成14年	同上	令和4年学生募集 停止
都市系専攻		-	-	-		-	-	-			
前期博士課程	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成14年	同上	令和4年学生募集 停止
後期博士課程	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成14年	同上	令和4年学生募集 停止
生活科学研究科		-	-	-		-	-	-			
生活科学専攻		-	-	-		-	-	-			
前期博士課程	2	-	-	-	修士 (学術) 修士 (生活科学)	-	-	-	平成12年	大阪市住吉区杉本 3丁目3番138号	令和4年学生募集 停止
後期博士課程	3	-	-	-	博士 (学術) 博士 (生活科学)	-	-	-	平成12年	同上	令和4年学生募集 停止
看護学研究科		-	-	-		-	-	-			
看護学専攻		-	-	-		-	-	-			
前期博士課程	2	-	-	-	修士 (看護学)	-	-	-	平成20年	大阪市阿倍野区旭 町1丁目4番3号	令和4年学生募集 停止
後期博士課程	3	-	-	-	博士 (看護学)	-	-	-	平成22年	同上	令和4年学生募集 停止
都市経営研究科		-	-	-		-	-	-			
都市経営専攻		-	-	-		-	-	-			
博士前期課程	2	-	-	-	修士 (都市経営)	-	-	-	平成30年	大阪市住吉区杉本 3丁目3番138号	令和4年学生募集 停止
博士後期課程	3	-	-	-	博士 (都市経営)	-	-	-	令和2年	同上	令和4年学生募集 停止
法学研究科		-	-	-		-	-	-			
法学政治学専攻		-	-	-		-	-	-			
前期博士課程	2	-	-	-	修士 (法学)	-	-	-	昭和28年	大阪市住吉区杉本 3丁目3番138号	令和4年学生募集 停止
後期博士課程	3	-	-	-	博士 (法学)	-	-	-	昭和28年	同上	令和4年学生募集 停止
法曹養成専攻		-	-	-		-	-	-			
専門職学位課程	3	-	-	-	法務博 士 (専門職)	-	-	-	平成16年	同上	令和4年学生募集 停止
医学研究科		-	-	-		-	-	-			
医科学専攻		-	-	-		-	-	-			
修士課程	2	-	-	-	修士 (医科学)	-	-	-	平成18年	大阪市阿倍野区旭 町1丁目4番3号	令和4年学生募集 停止
基礎医科学専攻		-	-	-		-	-	-			
博士課程	4	-	-	-	博士 (医学)	-	-	-	平成18年	同上	令和4年学生募集 停止
臨床医科学専攻		-	-	-		-	-	-			
博士課程	4	-	-	-	博士 (医学)	-	-	-	平成18年	同上	令和4年学生募集 停止
大学全体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	令和4年学生募集 停止

大 学 の 名 称	大阪府立大学						学生募集停止学科数	15	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	-	備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
現代システム科学域	年	人	年次	人		倍	倍	-			
知識情報システム学類	4	-	-	-	学士 (情報学)	-	-	-	平成24年	大阪府堺市中区学園町1番1号	令和4年学生募集停止
環境システム学類	4	-	-	-	学士 (環境システム学)	-	-	-	平成24年	同上	令和4年学生募集停止
マネジメント学類	4	-	-	-	学士 (経営学) 学士 (経済学)	-	-	-	平成24年	同上	令和4年学生募集停止
工学域		-	-	-		-	-	-			
電気電子系学類	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成24年	大阪府堺市中区学園町1番1号	令和4年学生募集停止
物質化学系学類	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成24年	同上	令和4年学生募集停止
機械系学類	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成24年	同上	令和4年学生募集停止
生命環境科学域		-	-	-		-	-	-			
獣医学類	6	-	-	-	学士 (獣医学)	-	-	-	平成24年	大阪府泉佐野市りんくう往来北1番地58号	令和4年学生募集停止
応用生命科学類	4	-	-	-	学士 (応用生命科学)	-	-	-	平成24年	大阪府堺市中区学園町1番1号	令和4年学生募集停止
緑地環境科学類	4	-	-	-	学士 (緑地環境科学)	-	-	-	平成24年	同上	令和4年学生募集停止
理学類	4	-	-	-	学士 (理学)	-	-	-	平成30年	同上	令和4年学生募集停止
地域保健学域		-	-	-		-	-	-			
看護学類	4	-	-	-	学士 (看護学)	-	-	-	平成24年	大阪府羽曳野市はびきの3丁目7番30号	令和4年学生募集停止
総合リハビリテーション学類		-	-	-		-	-	-			
理学療法専攻	4	-	-	-	学士 (保健学)	-	-	-	平成17年	大阪府羽曳野市はびきの3丁目7番30号	令和4年学生募集停止
作業療法専攻	4	-	-	-	学士 (保健学)	-	-	-	平成17年	同上	令和4年学生募集停止
栄養療法専攻	4	-	-	-	学士 (保健学)	-	-	-	平成17年	同上	令和4年学生募集停止
教育福祉学類	4	-	-	-	学士 (教育福祉学)	-	-	-	平成24年	同上	令和4年学生募集停止
大学全体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	令和4年学生募集停止

大 学 の 名 称	大阪府立大学大学院						学生募集停止学科数	36	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	-	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所 在 地	
工学研究科	年	人	年次	人		倍	倍				
機械系専攻		-	-	-		-	-	-			
博士前期課程	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成17年	大阪府堺市中区学園町1番1号	令和4年学生募集停止
博士後期課程	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成17年	同上	令和4年学生募集停止
航空宇宙海洋系専攻		-	-	-		-	-	-			
博士前期課程	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成17年	同上	令和4年学生募集停止
博士後期課程	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成17年	同上	令和4年学生募集停止
電子・数物系専攻		-	-	-		-	-	-			
博士前期課程	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成17年	同上	令和4年学生募集停止
博士後期課程	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成17年	同上	令和4年学生募集停止
電気・情報系専攻		-	-	-		-	-	-			
博士前期課程	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成17年	同上	令和4年学生募集停止
博士後期課程	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成17年	同上	令和4年学生募集停止
物質・化学系専攻		-	-	-		-	-	-			
博士前期課程	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成17年	同上	令和4年学生募集停止
博士後期課程	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成17年	同上	令和4年学生募集停止
量子放射線系専攻		-	-	-		-	-	-			
博士前期課程	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成25年	同上	令和4年学生募集停止
博士後期課程	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成25年	同上	令和4年学生募集停止
生命環境科学研究科		-	-	-		-	-	-			
応用生命科学専攻		-	-	-		-	-	-			
博士前期課程	2	-	-	-	修士 (応用生命科学)	-	-	-	平成17年	大阪府堺市中区学園町1番1号	令和4年学生募集停止
博士後期課程	3	-	-	-	博士 (応用生命科学)	-	-	-	平成17年	同上	令和4年学生募集停止
緑地環境科学専攻		-	-	-		-	-	-			
博士前期課程	2	-	-	-	修士 (緑地環境科学)	-	-	-	平成17年	同上	令和4年学生募集停止
博士後期課程	3	-	-	-	博士 (緑地環境科学)	-	-	-	平成17年	同上	令和4年学生募集停止
獣医学専攻		-	-	-		-	-	-			
博士課程	4	-	-	-	博士 (獣医学)	-	-	-	平成17年	大阪府泉佐野市りんくう往来北1番地58号	令和4年学生募集停止
理学系研究科		-	-	-		-	-	-			
数理科学専攻		-	-	-		-	-	-			
博士前期課程	2	-	-	-	修士 (理学)	-	-	-	平成30年	大阪府堺市中区学園町1番1号	令和4年学生募集停止
博士後期課程	3	-	-	-	博士 (理学)	-	-	-	平成30年	同上	令和4年学生募集停止
物理科学専攻		-	-	-		-	-	-			
博士前期課程	2	-	-	-	修士 (理学)	-	-	-	平成17年	同上	令和4年学生募集停止
博士後期課程	3	-	-	-	博士 (理学)	-	-	-	平成17年	同上	令和4年学生募集停止
分子科学専攻		-	-	-		-	-	-			
博士前期課程	2	-	-	-	修士 (理学)	-	-	-	平成17年	同上	令和4年学生募集停止
博士後期課程	3	-	-	-	博士 (理学)	-	-	-	平成17年	同上	令和4年学生募集停止
生物科学専攻		-	-	-		-	-	-			
博士前期課程	2	-	-	-	修士 (理学)	-	-	-	平成17年	同上	令和4年学生募集停止
博士後期課程	3	-	-	-	博士 (理学)	-	-	-	平成17年	同上	令和4年学生募集停止

経済学研究科		-	-	-		-	-	-			
経済学専攻		-	-	-		-	-	-			
博士前期課程	2	-	-	-	修士 (経済学)	-	-	-	平成17年	大阪府堺市中央区学 園町1番1号	令和4年学生募集 停止
博士後期課程	3	-	-	-	博士 (経済学)	-	-	-	平成17年	同上	令和4年学生募集 停止
経営学専攻		-	-	-		-	-	-			
博士前期課程	2	-	-	-	修士 (経営学) 修士 (学術)	-	-	-	平成17年	同上	令和4年学生募集 停止
人間社会システム科学研究科		-	-	-		-	-	-			
現代システム科学専攻		-	-	-		-	-	-			
博士前期課程	2	-	-	-	修士 (情報学) 修士 (環境学) 修士 (学術)	-	-	-	平成28年	大阪府堺市中央区学 園町1番1号	令和4年学生募集 停止
博士後期課程	3	-	-	-	後期 (情報学) 後期 (環境学) 後期 (学術)	-	-	-	平成28年	同上	令和4年学生募集 停止
人間社会学専攻		-	-	-		-	-	-			
博士前期課程	2	-	-	-	修士 (言語文化 学) 修士 (人間科 学) 修士 (社会福祉 学)	-	-	-	平成28年	同上	令和4年学生募集 停止
博士後期課程	3	-	-	-	博士 (言語文化 学) 博士 (人間科 学) 博士 (社会福祉 学)	-	-	-	平成28年	同上	令和4年学生募集 停止
看護学研究科		-	-	-		-	-	-			
看護学専攻		-	-	-		-	-	-			
博士前期課程	2	-	-	-	修士 (看護学)	-	-	-	平成17年	大阪府羽曳野市は びきの3丁目7番30 号	令和4年学生募集 停止
博士後期課程	3	-	-	-	博士 (看護学)	-	-	-	平成17年	同上	令和4年学生募集 停止
総合リハビリテーション学研 究科		-	-	-		-	-	-			
総合リハビリテーション 学専攻		-	-	-		-	-	-			
博士前期課程	2	-	-	-	修士 (保健学)	-	-	-	平成19年	大阪府羽曳野市は びきの3丁目7番30 号	令和4年学生募集 停止
博士後期課程	3	-	-	-	博士 (保健学)	-	-	-	平成21年	同上	令和4年学生募集 停止
大学全体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	令和4年学生募集 停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
（専攻科及び別科を除く）。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

＜情報学研究科 基幹情報学専攻（博士前期課程）＞

（１）－① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	阿多 信吾 (48) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※ 情報プラットフォーム構成論 マルチエージェントシステム サイバーセキュリティ※
専	教授	宇野 裕之 (57) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※ アルゴリズム設計論※ ビッグデータ解析※
専	教授	大野 修一 (55) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※ サイバーセキュリティ※ 時系列信号処理
専	教授	黄瀬 浩一 (58) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※ ヒューマンコンピュータインタ ラクション※ 言語情報学※
専	教授	戸出 英樹 (56) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※ ネットワークシステム設計論
専	教授	中野 賢 (45) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※ 確率統計学※ 通信基盤
専	教授	能島 裕介 (45) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※ 先端的計算知能※ データマイニング※

【令和４年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	阿多 信吾 (48) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※ 情報プラットフォーム構成論 サイバーセキュリティ※ 無線ネットワークシステム※
専	教授	宇野 裕之 (57) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※ アルゴリズム設計論※ ビッグデータ解析※
専	教授	大野 修一 (55) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※ サイバーセキュリティ※ 時系列信号処理
専	教授	黄瀬 浩一 (58) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※ ヒューマンコンピュータインタ ラクション※ 言語情報学※
専	教授	戸出 英樹 (56) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※ ネットワークシステム設計論
専	教授	中野 賢 (45) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※ 確率統計学※ 通信基盤
専	教授	能島 裕介 (45) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		先端ソフトウェア環境構築実践 基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※ 先端的計算知能※ データマイニング※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤本 典幸 (52) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※ 高性能計算論
専	教授	本多 克宏 (48) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※ 先端的计算知能※ データマイニング※
専	教授	森 直樹 (53) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※ 社会情報学※ 言語情報学※
専	教授	吉岡 理文 (53) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※ 深層学習※ 機械学習構成論※
専	准教授	井上 勝文 (37) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		プログラミング演習（機械学習 演習） 基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※
専	准教授	岩田 基 (46) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 ヒューマンコンピュータインタ ラクション※ 画像情報学※
専	准教授	岩村 雅一 (46) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 深層学習※ 画像情報学※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤本 典幸 (52) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※ 高性能計算論
専	教授	本多 克宏 (48) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※ 先端的计算知能※ データマイニング※
専	教授	森 直樹 (53) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		プログラミング演習（機械学習 演習） 先端ソフトウェア環境構築実践 基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※ 社会情報学※ 言語情報学※
専	教授	吉岡 理文 (53) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※ 深層学習※ 機械学習構成論※
専	准教授	井上 勝文 (37) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		先端ソフトウェア環境構築実践 基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※
専	准教授	岩田 基 (46) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 ヒューマンコンピュータインタ ラクション※ 画像情報学※
専	准教授	岩村 雅一 (46) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 深層学習※ 画像情報学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	生方 誠希 (38) ＜令和4年4月＞ 博士（情報科学）
		プログラミング演習（機械学習演習） 基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※
専	准教授	谷川 陽祐 (39) ＜令和4年4月＞ 博士（情報科学）
		先端ソフトウェア環境構築実践 基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 情報センシングシステム※ 無線ネットワークシステム※
専	准教授	蔡 凱 (38) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 マルチエージェントシステム
専	准教授	中島 重義 (62) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※ アルゴリズム設計論※ 時系列信号処理
専	准教授	林 利治 (61) ＜令和4年4月＞ 工学博士
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 確率統計学※ 機械学習構成論※
専	准教授	北條 仁志 (50) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 社会情報学※ ビッグデータ解析※
専	講師	上野 敦志 (53) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		先端ソフトウェア環境構築実践 基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	生方 誠希 (38) ＜令和4年4月＞ 博士（情報科学）
		プログラミング演習（機械学習演習） 先端ソフトウェア環境構築実践 基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※
専	准教授	谷川 陽祐 (39) ＜令和4年4月＞ 博士（情報科学）
		プログラミング演習（機械学習演習） 先端ソフトウェア環境構築実践 基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 情報センシングシステム※ 無線ネットワークシステム※
専	教授	蔡 凱 (38) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※ マルチエージェントシステム
専	准教授	中島 重義 (62) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 アルゴリズム設計論※ 時系列信号処理
専	准教授	林 利治 (61) ＜令和4年4月＞ 工学博士
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 確率統計学※ 機械学習構成論※
専	准教授	北條 仁志 (50) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 社会情報学※ ビッグデータ解析※
専	講師	上野 敦志 (53) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	内海（岩村） ゆづ子 (38) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	専	講師	内海（岩村） ゆづ子 (38) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		プログラミング演習（機械学習演習） 基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※			プログラミング演習（機械学習演習） 先端ソフトウェア環境構築実践 基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 基幹情報学セミナー※
専	講師	勝間 亮 (40) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	専	講師	勝間 亮 (40) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		先端ソフトウェア環境構築実践 基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 情報センシングシステム※ 無線ネットワークシステム※			プログラミング演習（機械学習演習） 基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 情報センシングシステム※ 無線ネットワークシステム※
			専	准教授	藤本 まなと (36) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
					基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 情報センシングシステム※ 無線ネットワークシステム※
			専	講師	Tran Thi Hong (36) ＜令和4年4月＞ 博士（情報学）
					基幹情報学特別研究 1 基幹情報学特別研究 2 サイバーセキュリティ※
兼任	教授	芦田 淳 (60) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	兼任	教授	芦田 淳 (60) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		戦略的システム思考力演習1 戦略的システム思考力演習2			戦略的システム思考力演習1 戦略的システム思考力演習2
兼任	教授	阿多 信吾 (48) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	兼任	教授	阿多 信吾 (48) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		研究公正A※			研究公正A※
兼任	教授	飯吉（藤丸） 弘子 (54) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	兼任	教授	飯吉（藤丸） 弘子 (54) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		大学院キャリア形成論—学問・大学と社会 大学教育基礎演習			大学院キャリア形成論—学問・大学と社会 大学教育基礎演習
兼任	教授	佐藤 哲也 (52) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	兼任	教授	佐藤—哲也 —(52)— ＜令和4年4月＞ 博士—(工学)—
		化学産業論※			化学産業論※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	立花 太郎 (55) ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		バイオデザイン グローバル経営特論
兼任	教授	谷口 与史也 (61) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		グローバル経営特論
兼任	教授	中島 洋 (54) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		化学産業論※
兼任	教授	西垣 順子 (48) ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）
		大学院キャリア形成論—学問・ 大学と社会 大学教育基礎演習
兼任	教授	橋本 文彦 (58) ＜令和4年4月＞ 博士（経済学）
		研究公正A※
兼任	教授	藤岡 真由美 (54) ＜令和4年4月＞ Doctor of Philosophy (Ph. D.) in Language Education（米国）
		Academic Writing
兼任	教授	細川 千絵 (44) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		化学産業論※
兼任	教授	松井 利之 (57) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		戦略的システム思考力演習1 戦略的システム思考力演習2 イノベーション創出型研究者養成
兼任	教授	宮本 貴朗 (60) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		研究公正A※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	立花 太郎 (55) ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		バイオデザイン グローバル経営特論
兼任	教授	谷口 与史也 (61) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		グローバル経営特論
兼任	教授	中島—洋 —(54)— ＜令和4年4月＞ 博士—(理学)—
		化学産業論※
兼任	教授	西垣 順子 (48) ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）
		大学院キャリア形成論—学問・ 大学と社会 大学教育基礎演習
兼任	教授	橋本 文彦 (58) ＜令和4年4月＞ 博士（経済学）
		研究公正A※
兼任	教授	藤岡 真由美 (54) ＜令和4年4月＞ Doctor of Philosophy (Ph. D.) in Language Education（米国）
		Academic Writing
兼任	教授	細川 千絵 (44) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		化学産業論※
兼任	教授	松井 利之 (57) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		戦略的システム思考力演習1 戦略的システム思考力演習2 イノベーション創出型研究者養成
兼任	教授	宮本 貴朗 (60) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		研究公正A※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	市田 秀樹 (47) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		研究公正A※
兼任	准教授	沈 用球 (50) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		戦略的システム思考力演習1 戦略的システム思考力演習2
兼任	准教授	平 知宏 (41) ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）
		大学院キャリア形成論—学問・ 大学と社会 大学教育基礎演習
兼任	准教授	Thomas Simon Mark (48) ＜令和4年4月＞ Doctor of Philosophy (Ph.D.) E-Research and Technology Enhanced Learning (英国)
		Academic Presentation
兼任	准教授	廣岡 浄進 (47) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		人権問題論※
兼任	准教授	古久保（富山） さくら (60) ＜令和4年4月＞ 農学修士
		人権問題論※
兼任	准教授	山口（中上） 悦子 (56) ＜令和4年4月＞ 博士（医学） 博士（人間科学）
		医療の品質管理A
兼任	講師	橋本 智也 (41) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		大学院キャリア形成論—学問・ 大学と社会 大学教育基礎演習
兼任	講師	Elizabeth Leigh (52) ＜令和4年4月＞ Master of Education in English Language Teaching (英国)
		Academic Writing Academic Presentation

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	市田 秀樹 (47) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		研究公正A※
兼任	准教授	沈 用球 (50) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		戦略的システム思考力演習1 戦略的システム思考力演習2
兼任	准教授	平 知宏 (41) ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）
		大学院キャリア形成論—学問・ 大学と社会 大学教育基礎演習
兼任	准教授	Thomas Simon Mark (48) ＜令和4年4月＞ Doctor of Philosophy (Ph.D.) E-Research and Technology Enhanced Learning (英国)
		Academic Presentation
兼任	准教授	廣岡 浄進 (47) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		人権問題論※
兼任	准教授	古久保（富山） さくら (60) ＜令和4年4月＞ 農学修士
		人権問題論※
兼任	准教授	山口（中上） 悦子 (56) ＜令和4年4月＞ 博士（医学） 博士（人間科学）
		医療の品質管理A
兼任	講師	橋本 智也 (41) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		大学院キャリア形成論—学問・ 大学と社会 大学教育基礎演習
兼任	講師	Elizabeth Leigh (52) ＜令和4年4月＞ Master of Education in English Language Teaching (英国)
		Academic Writing Academic Presentation

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	大仲 清司 (68) ＜令和4年4月＞ 工学博士	兼任	講師	大仲 清司 (68) ＜令和4年4月＞ 工学博士
		大学院キャリアデザイン演習 大学院キャリア形成論—学問・大学と社会			大学院キャリアデザイン演習 大学院キャリア形成論—学問・大学と社会
兼任	講師	Tina Niomi Howard (35) ＜令和4年4月＞ 修士（理学）	兼任	講師	Tina Niomi Howard (35) ＜令和4年4月＞ 修士（理学）
		テクニカルライティング・プレゼンテーション			テクニカルライティング・プレゼンテーション
兼任	講師	鳥生 隆 (70) ＜令和4年4月＞ 理学博士	兼任	講師	鳥生 隆 (70) ＜令和4年4月＞ 理学博士
		大学院キャリアデザイン演習			大学院キャリアデザイン演習
兼任	講師	南部 陽介 (39) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	南部 陽介 (39) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		戦略的システム思考力演習1 戦略的システム思考力演習2			戦略的システム思考力演習1 戦略的システム思考力演習2
兼任	講師	本條 勝彦 (66) ＜令和4年4月＞ Ph. D. (Physics)（米国） 博士（物理学）	兼任	講師	本條 勝彦 (66) ＜令和4年4月＞ Ph. D. (Physics)（米国） 博士（物理学）
		科学英語			科学英語
兼任	講師	山下 哲子 (66) ＜令和4年4月＞ the degree of Master of Business Administration（米国）	兼任	講師	山下—哲子— (66)— ＜令和4年4月＞ the degree of Master of Business Administration—(米国)—
		大学院キャリア形成論—学問・大学と社会			大学院キャリア形成論—学問・大学と社会
兼任	講師	山田 憲嗣 (53) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	山田 憲嗣 (53) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		バイオデザイン			バイオデザイン

- （注） ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

・令和4年4月蔡 凱准教授、教授に昇任。教員審査省略。 ・令和4年4月藤本 まなと准教授就任。教員審査省略。 ・令和4年4月Tran Thi Hong講師就任。教員審査省略。
--

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
10	7	0
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により
算出される教員数を記入してください。

(2)－② 専任教員等数【大学院】

設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （A）	助手 （A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （B）	助手 （B'）
11	9	3	0	23	0	12	9	4	0	25	0
(11)	(9)	(3)	(0)	(23)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
23	0	0				25	0	0			
(23)	(0)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （C）	助手 （C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （D）	助手 （D'）
12	9	4	0	25	0	12	9	4	0	25	0
[1]	[0]	[1]	[0]	[2]	[0]	[1]	[0]	[1]	[0]	[2]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
25	0	0				25	0	0			
[2]	[0]	[0]				[2]	[0]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2)－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定 年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長して 採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、
及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている
教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入
し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{25}{23} = \boxed{108.69} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{25} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由
(3)－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
		該当なし											
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「（3）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		該当なし											
合 計 （ F ）						後任補充状況の集計 （ G ）							
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－③ 上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合 計（D）＋（F）						後任補充状況の集計（E）＋（G）					
辞任等した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修		0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択		0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由		0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計		0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3)－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)－③合計(D)+(F)

(2)－②設置時の計画(A)

=

0

23

=

0

%

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)－⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0

人

- (注) ・ (3)－①、(3)－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし									
合計						後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員について**に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」

・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」

・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画	
認 可 時 (令和4年)	・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	遵守事項	・設置の趣旨・目的及び養成する人材像等をふまえ、新入学した大学院生に対し、学術の理論及び応用を教授研究するに留まらず理論及び応用を教授研究するに留まらず、研究を志す者としての心構え、学部生時代との違い等について、各教員との対話を通じた組織的な指導により本専攻の院生としての自覚を促し、設置計画の確実な履行に努めている。 ・また、全学的にも、新任教員オリエンテーション、教授会、FD・SD研修、各種委員会活動を通じて設置趣旨に即した運営を通じて設置計画を確実に履行する体制を整え、教育研究活動の水準向上に努めている。(4)	・今後も引き続き、設置の趣旨・目的等が生かされるよう、FD・SD研修や各種委員会活動を通じて教育研究活動の水準を向上させる取り組みに注力する。(4)
認 可 時 (令和4年)	・「プログラミング演習(機械学習演習)」及び「先端ソフトウェア環境構築実践」のシラバスにおける授業概要の欄に、本学の学部における情報関連科目の名称を列挙した上で、授業科目の内容等の差異が記載されているが、他大学から入学する学生も想定されることから、例えば、現在の記載は参考として残しつつ、両科目の水準や履修する上で必要な基礎知識を記載するなど、他大学からの入学者であっても理解が容易になるような説明を追記して記載を改めることが望ましい。 (情報学研究科 基幹情報学専攻(M))	助言事項	・左記の助言を踏まえ「プログラミング演習(機械学習演習)」及び「先端ソフトウェア環境構築実践」のシラバスにおいて、学士課程段階で履修すべき科目や学修内容の概要を明記するとともに、各科目での具体的な学修内容を補足する記述を行い、他大学からの履修生が学修進度を理解できるような内容に修正した。 (参考資料1のとおり) (4)	履行済
認 可 時 (令和4年)	・二以上の校地において教育を行うことから、学生及び教員の教育研究等に支障のないよう留意すること。また、学生の課外活動等にも配慮すること。	遵守事項	・情報学研究科は、2つのキャンパスで教育研究を展開する計画となっておりますが、当該課程に入学した大学院生は、指導教員の所属するキャンパスを拠点として教育研究を行える環境を整備している。 このため、学生及び教員は、日々の教育研究活動において、原則として、キャンパスを移動することなく科目履修及び研究活動を行っており、教育研究等に支障のない状態と体制の整備ができています。(4)	・二以上の校地で教育研究活動等を行う学生に支障がないよう、左記の取組みについて定期的に確認し、必要に応じて改善していく。(4)

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。） と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。
その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

プログラミング演習（機械学習演習）」のシラバス

授業名称		担当教員氏名	
プログラミング演習（機械学習演習）		生方 誠希、内海 ゆづ子、井上 勝文、谷川 陽祐、勝間 亮、森 直樹	
単位数	配当年次	必修・選択の別	授業形態
2	1 年前期	必修	演習

授業概要
機械学習に関する基礎知識と基礎技術および発展的技術を学び、応用的な課題をプログラミングを通して解決できるよう訓練する。基礎的な演習として、最適化の知識を学び、演習課題を通して実践する。また、機械学習の教師あり学習・教師なし学習・強化学習について学び、演習課題を通して、各種技術による課題解決能力を身につける。さらに、応用的演習として、各教員の専門分野に関する演習課題を通して、先端的な機械学習技術を用いた高度な問題解決能力を養成する。学士課程の専門科目「情報工学演習 1、情報工学演習 2、情報工学演習 3、情報工学実験 1、情報工学実験 2」では、C、C++、Python 等のプログラミング言語の基礎の習得(文法の習得および教科書に基づく数値計算やアルゴリズムの実装)から専門分野への応用(各教員の専門分野の基礎的な技術の実装)までを取り扱ったのに対し、本演習では、上述のプログラミング言語の基礎や専門分野への応用に関する知識を有することを前提に、機械学習による問題解決能力を習得するため、広範囲かつ高度な理論の習得および実用的かつ発展的な演習に取り組む。また、本演習では、先端的な機械学習技術を用いた高度な問題解決能力を養成することで、複雑化する実社会における諸問題の解決に向けて最先端の領域で活躍できるデータサイエンティストとしての素養を高める。
到達目標
1. 機械学習の最適化について理解し、実践できるようになる。 2. 機械学習の教師あり学習・教師なし学習・強化学習を習得し、各種技術による課題解決能力を身につける。 3. 先端的な機械学習技術を用いた高度な問題解決能力を身につける。

授業回	各回の授業内容	事前・事後学習の内容
第 1 回	ガイダンス	各回の授業概要に示す内容について予習しておく。必要に応じて、授業時間外でプログラミングを行う。毎回課されるレポートの作成を通じて授業内容を復習し、理解を深める。
第 2 回	機械学習演習 (1)：最適化(1) (数理最適化)	
第 3 回	機械学習演習 (2)：最適化(2) (組合せ最適化)	
第 4 回	機械学習演習 (3)：教師あり学習(1) (決定木・ランダムフォレスト)	
第 5 回	機械学習演習 (4)：教師あり学習(2) (サポートベクターマシン)	
第 6 回	機械学習演習 (5)：教師あり学習(3) (ニューラルネットワーク)	
第 7 回	機械学習演習 (6)：教師なし学習(1) (クラスタリング)	

「先端ソフトウェア環境構築実践」のシラバス

授業名称		担当教員氏名	
先端ソフトウェア環境構築実践		井上 勝文、谷川 陽祐、生方 誠希、内海 ゆづ子、能島 裕介、森 直樹	
単位数	配当年次	必修・選択の別	授業形態
2	1 年後期	必修	演習

授業概要
チームプロジェクトとしてプログラム開発するために必要なソフトウェア、および情報共有のためのコミュニケーションツールについて学び、演習を通じてプロジェクト環境を整える能力を養成する。また構築した環境を用い、実際にチームを組んでプログラム開発することで、チームプロジェクト開発に必要な能力を養成する。学士課程の専門科目「情報工学演習 1、情報工学演習 2、情報工学演習 3、情報工学実験 1、情報工学実験 2」では、C、C++、Python 等のプログラミング言語の基礎(文法)を習得し、それらを用いた個人でのプログラム開発(教科書に基づく数値計算やアルゴリズムの実装)に重きを置いているのに対し、本演習では、上述のプログラミング言語の基礎や個人でのプログラム開発に関する知識を有することを前提に、チームで問題解決を図る能力の習得を目指し、より大規模かつ実践的な演習に取り組む。また、本演習では、先端環境を駆使し、ハッカソンのように学生がテーマに沿って自由にプログラム仕様を策定・実装に取り組むことで、実践力を身につけることを目指す。
到達目標
1. チームプロジェクトに必要な様々なソフトウェアおよびコミュニケーションツールの特徴を把握し、チームプロジェクトに合った環境を整える能力を身につける。 2. チームで情報共有するために、再配布可能な仮想環境の構築方法を身につける。 3. プログラムを段階的に開発するためのバージョン管理方法を身につける。 4. プログラム開発演習を通じて、チームプロジェクト開発に必要な能力を身につける。

授業回	各回の授業内容	事前・事後学習の内容
第 1 回	ガイダンス	各回の授業概要に示す内容について予習しておく。必要に応じて、授業時間外でプログラミングを行う。毎回課されるレポートの作成を通じて授業内容を復習し、理解を深める。
第 2 回	エディタ・コミュニケーションツール概要	
第 3 回	コンパイル：ソフトウェアインストール	
第 4 回	仮想環境概要	
第 5 回	仮想環境構築演習(1) (仮想環境の構築)	
第 6 回	仮想環境構築演習(2) (仮想環境を用いたプログラミング)	
第 7 回	仮想環境構築演習(3) (オンライン環境を用いたプログラミング)	
第 8 回	バージョン管理演習(1) (バージョン管理ソフトウェアの設定)	
第 9 回	バージョン管理演習(2)	

第 8 回	機械学習演習 (7)：教師なし学習(2) (協調フィルタリング)	
第 9 回	機械学習演習 (8)：強化学習 (Q 学習)	
第 10 回	機械学習演習(1)：各教員の専門分野の演習 (知的信号処理)	
第 11 回	機械学習演習(2)：各教員の専門分野の演習 (知能メディア処理)	
第 12 回	機械学習演習(3)：各教員の専門分野の演習 (人間情報システム)	
第 13 回	機械学習演習(4)：各教員の専門分野の演習 (知能機械システム)	
第 14 回	機械学習演習(5)：各教員の専門分野の演習 (知的ネットワークング)	
第 15 回	機械学習演習(6)：各教員の専門分野の演習 (分散計算・モバイルコンピューティング)	

成績評価方法
到達目標 1、 2、 3 の達成度に基づいて成績評価を行う。C(合格)となるためには 1、 2、 3 のすべての項目を最低限習得していることが必要である。毎回レポートを課し、レポートの平均点が 60 点以上を合格とする。
履修上の注意
《関連科目》機械学習構成論、深層学習、先端ソフトウェア環境構築実践
教科書
なし
参考文献
[1] パターン認識と機械学習 上、C. M. ビショップ(著)、[2] パターン認識と機械学習 下、C. M. ビショップ(著)、[3] Machine Learning: A Probabilistic Perspective (Adaptive Computation and Machine Learning series), K. P. Murphy (著)

	(バージョン管理ソフトウェアを用いたプログラムのバージョン管理・復元)	
第 10 回	バージョン管理演習(3) (バージョン管理ソフトウェアを用いたプログラミングとそのプログラムの共有)	
第 11 回	クラウドサービス演習	
第 12 回	チームプロジェクト演習(1) (課題の決定・課題解決方法の検討)	
第 13 回	チームプロジェクト演習(2) (システム開発)	
第 14 回	チームプロジェクト演習(3) (発表準備)	
第 15 回	チームプロジェクト発表	

成績評価方法
到達目標 1～4 の達成度に基づいて成績評価を行う。C(合格)となるためには 1～4 のすべての項目を最低限習得していることが必要である。毎回レポートを課し、レポートの平均点が 60 点以上を合格とする。
履修上の注意
《関連科目》プログラミング演習（機械学習演習）
教科書
演習の種類ごとに資料を配付する。
参考文献
[1] Docker、A. Mouat(著)、オライリー・ジャパン、[2] GitHub 実践入門～Pull Request による開発の変革～、大塚弘記(著)、技術評論社、[3] チーム開発実践入門～共同作業を円滑に行うツール・メソッド～、池田尚史、藤倉和明、井上史彰(著)、技術評論社

7 その他全般的事項

<情報学研究科 基幹情報学専攻（博士前期課程）>

（１）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

（注）・ １～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ 本学では、大阪公立大学の教育改革及びファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）を始めとする教育改善に関する具体的施策を検討するため、大阪公立大学教育推進本部の専門委員会として教育改革委員会を設置している。
- その組織的かつ具体的なFD推進にあたり、国際基幹教育機構内に高等教育研究開発センターを設置し、大学及び大学院全体のFD活動を推進している。
- 高等教育研究開発センターでは、全学FD企画を企画運営するとともに、教育改善・FDの方向性を審議する教育改革専門委員会の運営に協力することを通じて、各部局のFD活動を支援している。
- 教育に関するSDについては、教育推進本部を中心に、教職協働によるセミナー等を実施している。
- ・ また、FDやSDも含む大学全体の教育研究等の質保証の審議機関としては、教育戦略担当副学長を議長とする大阪公立大学内部質保証会議を設置し、内部質保証を統括している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 教育改革専門委員会は、教育担当副学長を筆頭に、高等教育研究開発センター長・副センター長、国際基幹教育機構及び全学部・研究科から選出された教員で組織される。

c 委員会の審議事項等

- ・ 委員会は、次の事項を審議する。（大阪公立大学教育改革委員会規程 第４条）
- (1) 全学の教育改革に関する事項
- (2) 全学FD活動の企画・運営及び部局FD活動の情報共有・促進支援に関する事項
- (3) 全学的な教育の内部質保証の推進に関する事項
- (4) 教学IR（インスティテューショナル・リサーチ）の実施に関する事項
- (5) 全学SD（スタッフ・ディベロップメント）推進組織との連絡調整に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 全学FDセミナー・研究会等の実施
- ・ 新任教員研修及び授業デザイン研修等の実施
- ・ 学生調査の実施、分析
- ・ 教職員の職種、職階等の特性に応じたFD／SDの実施

b 実施方法

- ・ 全学FDセミナー・研究会等の実施については、対面とオンラインによるハイブリッド方式で開催予定。
- ・ 新任教員研修及び授業デザイン研修等の実施については、動画コンテンツ（高等教育研究開発センターが作成）の視聴と同期オンライン実施。授業デザイン研修は同期オンライン実施予定。
- ・ 学生調査については、学士課程１年次生と３年次生を対象に学修成果を実施予定。
- ・ FD／SDの実施については、夏季休暇期間等において開催予定。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

（※開学して間もないため、開催状況は割愛）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 (※開学して間もないため、取組状況は割愛) ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 ・毎年度、前期・後期に実施（アンケート実施期間：各期最終授業頃～各期末頃まで） b 教員や学生への公開状況、方法等 ・各教員はポートフォリオシステム(※)上で一部を除き各担当授業の回答結果を確認できる。 ・学生に対しては、学内ポータルサイト等を通じ、公表にそぐわない内容を除き、原則公表する。
--

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 ・開学後3年以内に自己点検・評価を実施する予定である。 ② 自己点検・評価報告書 a 公表（予定）時期 ・開学後3年以内に自己点検・評価を実施し、速やかに公表する。 b 公表方法 ・自己点検・評価報告書を刊行し、ステークホルダー等に配布する。 ・大学ホームページ上に公開 ③ 認証評価を受ける計画 (専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。) ・開学後7年以内に認証評価機関の評価を受ける予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和４年度）

a 公表予定の有無 [有]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後 1 ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。